

Effect Guide



WING Firmware 3.0

内蔵プロセッサ / エフェクトプラグインガイド

behringer

WING EFFECTS GUIDE

WING はトゥルーステレオエフェクトプラグインを豊富に搭載しており、全チャンネルの EQ、ゲート、またはコンプレッサーで直接選択できるものと、バーチャルエフェクトトラックの 16 スロットのいずれかにアサインできるものがあります。

このガイドでは各エフェクトの説明と、それぞれが特に優れた機能についてのアドバイスを提供します。

まず、EFFECTS スクリーンからアクセスできる 16 スロットのバーチャルエフェクトトラックの詳細から始まります。空のスロットにはプレミアムおよびスタンダード FX の中からお好みのエフェクトを配置し、エフェクトを適用したい任意のチャンネルまたはバスのインサートポイントにアサインすることができます。最後に、各チャンネルのゲート、コンプレッサー、EQ の処理機能を置き換えることができるゲート、コンプレッサー、EQ プラグインの説明があります。

なお、これらのゲート、コンプレッサー、EQ プラグインはチャンネルのプロセッシングレイテンシーに一切影響しません。ただし、チャンネルのインサートポイントに読み込まれたエフェクトはごくわずかなディレイを生じさせる場合があります。これは PC 上で動作する VST プラグインなどを通じたエクスターナル FX プロセッシングをインサートに適用する場合などに影響することがあります。

本マニュアルに記載されている各製品名は、各社が所有する商標であり、Empower Tribe 社および株式会社エレクトリとの関連や協力関係を示唆するものではありません。これらの製品名称はサウンドモデルの開発中に参考にした特定の製品名を明らかにすることを唯一の目的としています。

16 スロットのバーチャルエフェクトラック

Premium FX

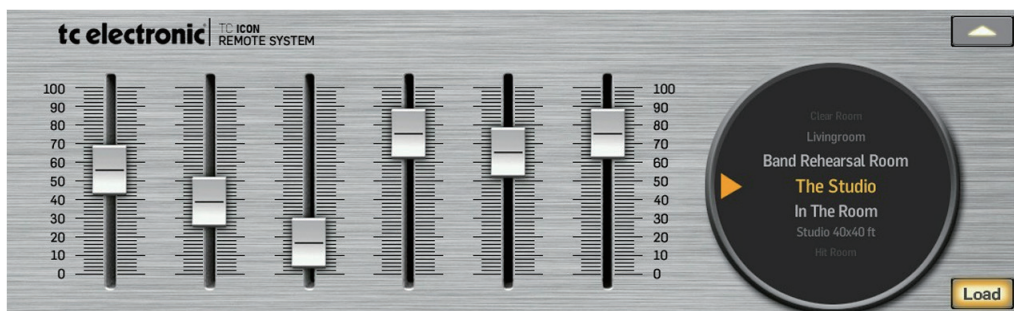
プレミアムエフェクトはディレイラインなどの外部メモリーを必要とするため、エフェクトスロット 1～8 でのみ利用可能です。ここでは、リバーブバスでの「センドエフェクト」や「サイドチェーンエフェクト」として頻繁に使用される優れたリバーブやクリエイティブなディレイエフェクトが見つかります。

HALL/ROOM/CHAMBER/PLATE/CONCERT/AMBIENCE



これら 6 つのリバーブエミュレーションはアルゴリズムリバーブユニット Lexicon 480L にインスパイアされています。各リバーブアルゴリズムの具体的なパラメーターはわずかに異なります。右下隅のボタンをクリックしてパラメーターをナビゲートします。

VSS3 REVERB



VSS3 REVERB は TC Electronic REVERB 6000 ユニットをベースにしており、数十種類のリバーブ、ディレイ、およびバウンダリーエフェクトを提供します。このユニットは左右チャンネルに対して 2 つの独立したプロセッシングチェーンによって生み出される「トゥールーステレオ」リバーブエフェクトで高く評価されています。右上隅の矢印をクリックすると、アーリーリフレクションとリバーブテールの具体的なパラメーター、モジュレーション、および一般的なリバーブコントロールを含む追加コントロールにアクセスできます。デバイス右側のメニューには複数のプリセットが用意されています。プリセットを使用するには、目的のプリセットを黄色の矢印に合わせて Load をクリックします。

VINATGE ROOM



VINTAGE ROOM は Quantec QRS にインスパイアされており、小さな部屋でサウンドを録音した際に生じる残響をシミュレートします。Vintage Room はギターやドラムのクローズマイクに生き生きとした響きを与えます。VU メーターは入出力レベルを表示します。REV DELAY は原音とリバーブテール間のタイムディレイを設定します。DECAY はリバーブの全体的なディケイタイムを設定します。ROOM SIZE はリバーブを生成するバーチャルルームの知覚的なサイズを制御し、DENSITY はリフレクションの時間的な間隔を調整します。HI/LOW MULTIPLY は高域と低域周波数のディケイタイムを調整します。ER DELAY L/R は原音とアーリーリフレクションの間のタイムディレイを設定します。ER LEVEL は原音に対するアーリーリフレクションの音量を設定します。エフェクトの入力信号に適用するローカットおよびハイカットフィルターも利用できます。LEVEL は出力信号の振幅を調整します。

VINTAGE REVERB



伝説的な EMT250 をベースにした Vintage Reverb は、ライブまたはレコーディングのトラックを埋もれさせたり圧倒したりすることなく、きらびやかで明るいリバーブを生み出します。Vintage Reverb を使用してボーカルやスネアドラムに輝きを加えながら、明瞭さを損なわずに上げることができます。

オリジナルの EMT250 ユニットのモノ入力信号からクアッドサラウンドリバーブを生成していました。フロントとリアの両方の出力ペアがそれぞれのコネクタから利用可能でした。Vintage Reverb では、FRONT と BACK ボタンによりどちらのペアを使用するかを選択できます。FRONT はボーカルやその他のダイナミックな楽器に適しています。REAR はより反射が少ないため、ドラムによく使用されます。入力トランスのエミュレーションも対応するボタンで有効にすることができます。

VINTAGE PLATE



VINTAGE PLATE はクラシックな EMT140 プレートリバーブのエミュレーションです。ローカットフィルター、ディケイ、およびプリディレイコントロールが搭載されています。COLOUR ノブは生成されるリバーブのトーンコントロールを提供します。

BLUE PLATE



BLUE PLATE は Lexicon PCM70 デジタルエフェクトプロセッサのプレートアルゴリズムをベースにしています。標準的なプリディレイ、サイズ、ディケイ、ディフュージョン、ローカット、ハイカット、およびモジュレーションコントロールが搭載されています。DAMPING ノブはダンピングが有効になる周波数の上限を設定します。XOVER ノブは BASS MULT ノブの設定に応じて低域周波数コンテンツが変化する周波数の下限を制御します。

GATED REVERB



1980 年代に広く普及したゲートリバーブ技法は、もともとリバーブの後段にノイズゲートを追加することで、信号レベルがスレッシュホールドを下回った後にリバーブテールを突然カットオフするという手法でした。Lexicon 300/480L にインスパイアされたこのゲートリバーブユニットは、リバーブテールを特殊な形状にシェーピングすることで同様の効果を生み出します。

REVERSE REVERB



Lexicon 300/480L にインスパイアされたこのエフェクトは、リバーブテールのエンベロープを反転させることでリバーブの音量が時間とともに増加するリバースリバーブをエミュレートします。Reverse Reverb のうねるようなクレッシェンドを使用して、目的のトラックに幻想的な質感を加えることができます。DECAY ノブは音量スウェルのピークに達した後、リバーブが完全に消えるまでの時間を調整します。RISE はリバーブの振幅がどれだけ上昇するかを制御します。DIFFUSE は初期リフレクション密度を制御します。SPREAD はリフレクションがリバーブのエンベロープ全体にどのように分散されるかを制御します。ローカットフィルターと 2 つのシェルビングフィルターが搭載されています。

DELAY/REVERB



DELAY/REVERB は Lexicon PCM70 デジタルエフェクトプロセッサーをベースにした、ディレイとリバーブの両方を組み合わせたデバイスです。左パネルはディレイのコントロールを、右パネルはリバーブエフェクトのコントロールを提供します。ドライ信号とディレイの出力信号の両方をリバーブに送ることができます。Delay と Direct ノブはリバーブプロセッサーに入力される各信号のレベルを制御します。

SHIMMER REVERB



エミュレートされたギターペダルの組み合わせにより、ギタリストの間で広く知られる「シマーリバーブ効果」を再現します。最初のペダルは原音に新しいハーモニクスを加えます。加えられるハーモニクスの数は SHIMMER ノブで制御します。各ハーモニクスの段階的な減衰は SHINE ノブで制御します。最大値に設定するとハーモニクスの減衰が最も少なくなります。2 番目のペダルはリバーブエフェクトを提供し、3 番目のペダルはローカットとハイカットフィルターを提供します。

SPRING REVERB



1970 年代の Pioneer SR-202W にインスパイアされたこのエフェクトは、目的のトラックにクラシックなスプリングリバーブのトーンを加えます。

DIMENSION CRS



Roland Dimension D SDD-320 ユニットをベースにしたこのエフェクトは、モジュレーションを通じて個別のトラックやミックス全体に奥行きとステレオワイドを加えます。モジュレーションの強度は OFF ボタンと 1～4 のボタンで設定できます。モジュレーションがオフの場合でも、ユニットは信号に音色付けを加えます。モード 1 が最も少ないモジュレーション量で、モード 4 が最も強烈です。複数のボタンを同時に有効にすることで各モードのバリエーションを実現できます。MIX ボタンを押して DRY インジケーターを点灯させることで、ドライ信号を処理済み信号に加えることができます。

STEREO CHORUS



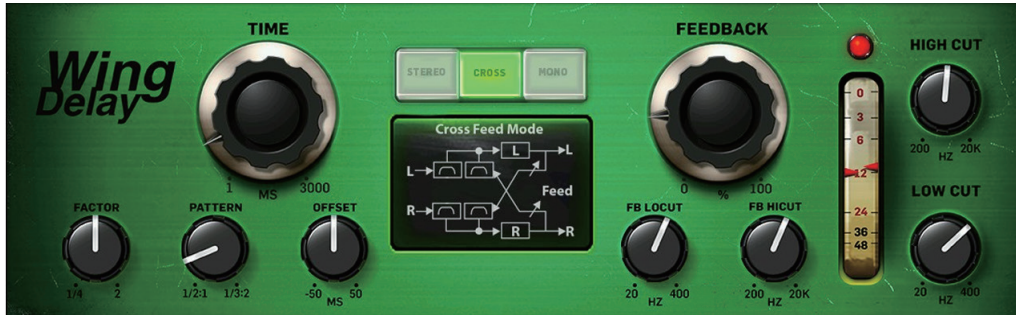
STEREO CHORUS はモジュレーション、コーラス、およびフィルターを提供し、より広がりのあるきらびやかなサウンドを生み出します。バックグラウンドボーカル、ブラスやウッドウィンド楽器の厚みを増したり、独特なギタートーンを作り出すのに活用できます。

STEREO FLANGER



Flanger はテープレコーダーのリールのフランジに圧力をかけることで生み出されたコムフィルタリング効果をエミュレートします。このエフェクトはボーカルや楽器に使用すると非常に印象的な独特の「ゆらぎ」サウンドを生み出します。FEEDBACK は正負両方の量で調整でき、FEED HC（ハイカット）および FEED LC（ローカット）ノブで帯域制限することができます。フランジャーペダルは左右チャンネルに対して独立した DELAY および DEPTH コントロールを提供します。モジュレーション SPEED は 0.05 Hz から 5 Hz の範囲です。PHASE ノブは左右チャンネルのモジュレーション間の位相関係をシフトさせることができます。チェーンの最後に追加のローカットおよびハイカットフィルターも利用できます。

STEREO DELAY



STEREO DELAY はモノ入力信号でも広いステレオフィールドを実現するための複数のコントロールを提供します。TIME は 1 から 3000 ミリ秒のマスターディレイタイムを調整し、FACTOR ノブで乗算することができます。FACTOR ノブが 1 に設定されている場合、TIME ノブで設定したディレイタイムは変わりません。PATTERN ノブは左右チャンネルそれぞれに固有の係数でディレイタイムを変化させます。例えば 3/4:1 に設定すると、左チャンネルのディレイタイムは 3/4 倍になり、右チャンネルのディレイは変わりません。1:3/2 に設定すると、左チャンネルのディレイタイムは変わらず、右チャンネルのディレイタイムは 3/2 倍になります。OFFSET ノブは左右のディレイ信号間の時間差を調整します。3 つのフィードバックモードが利用できます。STEREO は左右チャンネルに独立したフィードバックパスを提供します。CROSS は左チャンネルを右チャンネルに、右チャンネルを左チャンネルにフィードバックします。MONO は両方のフィードバックパスをミックスし、同じミックス信号を両ステレオチャンネルに送ります。フィードバック量は同名のノブで設定します。フィードバックループにはローカットおよびハイカットフィルターが利用できます。デバイス右側のローカットおよびハイカットフィルターはエフェクトユニットに入力される信号に適用されます。

ULTRATAP DELAY



ULTRATAP DELAY は Korg SDD-3000 デジタルディレイにインスパイアされており、各サウンドの繰り返しを柔軟かつシンプルに制御することができます。TIME は 1 から 2000 ミリ秒のディレイタイムを設定します。FACTOR はディレイ TIME を設定値で乗算します。PRE DELAY は原音に対して全ての繰り返しを 0 から 500 ミリ秒オフセットします。繰り返し回数は REPEATS ノブで設定し、1 から 16 の範囲です。各繰り返しは右上のグラフに表示されます。X 軸は時間を、Y 軸はステレオフィールド内の位置を表します。Y 軸の正の値はステレオフィールドのセンターより左の信号に対応し、負の値はセンターより右の信号に対応します。

繰り返しのパンニングパターンは 4 種類あります：

- MOVE：パンニングが一方から他方へ直線的に移動します
- JUMP：パンニングがハードレフトとハードライト間を交互に切り替わります
- FOCUS：繰り返し音はハードレフトまたはハードライトのパンニングから始まり、パンニングが徐々に中央に向かって狭まりながら交互に切り替わります
- SPREAD：FOCUS の逆です。繰り返し音はセンターのパンニングから始まり、パンニングが徐々に広がってハードレフトとハードライトに達するまで左右交互に切り替わります。なお、ステレオ効果を得るには 3 つ以上の繰り返し音が必要です。SPREAD モードの最初の 2 つの繰り返し音は常にセンターにパンされます。

WIDTH ノブを 0% に設定すると全ての繰り返しはセンターにパンされます。100% に設定すると最初の繰り返しはハードレフトにパンされます (SPREAD モードでは最後の繰り返し)。-100% に設定すると最初の繰り返しはハードライトにパンされます (SPREAD モードでは最後の繰り返し)。

SLOPE は繰り返し音を減衰させます。-6 dB に設定すると最後の繰り返しは最初の繰り返しより 6 dB 小さくなります。6 dB に設定すると最初の繰り返しは最後の繰り返しより 6 dB 小さくなります。減衰は各繰り返しに直線的に適用されます。繰り返し音が小さいほど、グラフ内でそれを表す黄色の四角は暗く表示されます。

DIFFUSION は原音の代わりにアーリーリフレクションのサウンドをエミュレートします。ローカットおよびハイカットフィルターも利用できます。

TAPE DELAY



WING TAPE-ECHO は 1970 年代中頃のエフェクトユニット Roland RE-201 Space Echo をベースにしています。このデバイスは入力信号をテープに録音して再生するという Space Echo のオリジナルメカニズムをエミュレートします。テープスピードを変えることで異なるディレイタイムを生み出していました。テープを使用することでこのユニット特有の温かみのあるミッドレンジ豊かな音色が生まれ、現在ではボーカルやエレクトリックギターのスラップバックディレイとして広く使用されています。

TIME、SUSTAIN (フィードバック)、DRIVE、そしてステレオモジュレーション効果を生み出す FLUTTER というシンプルなコントロールが搭載されています。

OILCAN DELAY



OILCAN は 1960 年代初頭の Tel-Ray Ad-N-Echo ユニットのエミュレーションです。オリジナルのユニットはモーターを内蔵し油で満たされた缶のような容器を持っていました。入力信号は「缶」の内部のゴムバンドの動きを駆動するために使用されていました。油の中の波がリバーブのような入力信号の「リフレクション」を生み出していました。TIME、SUSTAIN (フィードバック)、WOBBLE (ピッチモジュレーション)、および TONE というシンプルなコントロールが搭載されています。

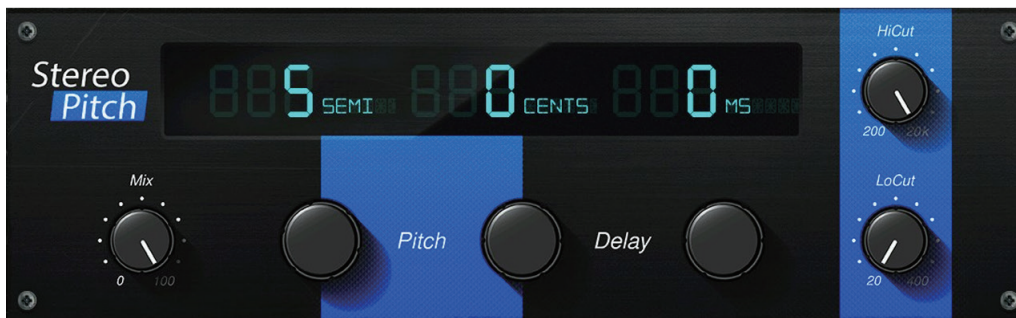
BBD DELAY



BBD DELAY はアナログテープディレイの代替として開発された「バケツリレーデバイス (Bucket Brigade Device)」と呼ばれるアナログ回路にちなんで名付けられています。アナログテープディレイは繊細で輸送が不便でした。この名称は消防士が水源から火元まで列になってバケツの水を手渡していく様子に例えられています。アナログ回路では入力信号が一つのコンデンサーから次のコンデンサーへと伝達されていました。各コンデンサーは充放電に時間がかかるため、信号が遅延していました。

BBD DELAY は回路を構成する数百個のコンデンサーによって生成される不要なノイズを低減するためにローパスフィルターを適用したアナログ BBD デバイスのサウンドをエミュレートし、ダークなディレイトーンを生み出します。

STEREO PITCH



ピッチシフトは一般的に 2 つの異なる方法で使用されます。まず、わずかにピッチシフトされた信号を少量原音に加えることで音色の厚みを増す「ダブラー」効果を生み出すことができます。あるいは、信号を 1 オクターブ上または下に大きくシフトさせてミックスの追加レイヤーとして使用することもできます。

STEREO PITCH はセミトーンおよびセント単位でのピッチシフト、ディレイ、およびフィルタリングを可能にします。ドライ/ウェットミックスノブも搭載されています。

DUAL PITCH

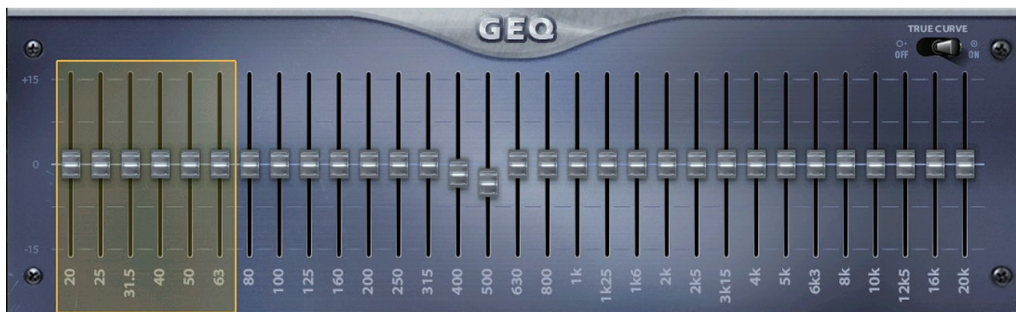


DUAL PITCH は左右チャンネルに対して独立したピッチシフトコントロールを提供します。各チャンネルはディレイ、セミトーン／セント単位のピッチシフト、減衰／増幅、およびパンニングを個別に調整できます。ローカットおよびハイカットフィルターは両チャンネルに適用されます。

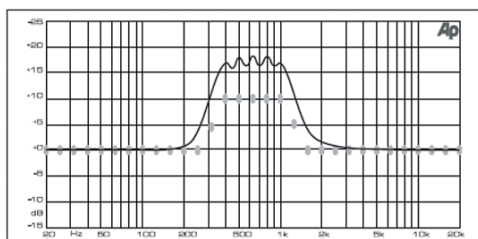
Standard FX

これらのエフェクトタイプは外部メモリーを必要とせず、16個の全エフェクトスロットで使用できます。これらのエフェクトのほとんどは、モニタリングバスのグラフィックEQや、ギター入力チャンネルのギターアンプシミュレーションなどのように、チャンネルやバスに直接「インサートエフェクト」として使用されます。

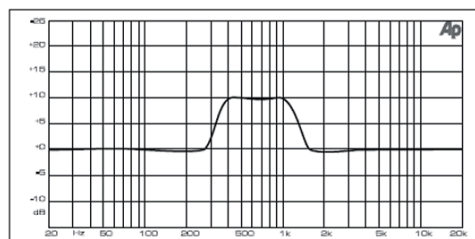
GRAPHIC EQ



20 Hzから20 kHzの間の標準的な31バンドグラフィックイコライザーです。各バンドで最大15 dBのブーストまたはカットが可能です。TRUE CURVEスイッチは特に隣接するバンドを変更した際のゲインおよび位相特性をより滑らかにします。

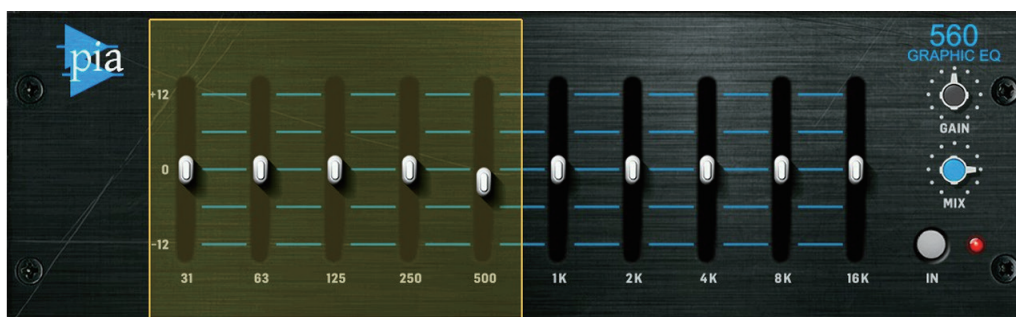


TRUE CURVE not engaged



TRUE CURVE engaged

PIA 560 GEQ



このグラフィックEQはAPI 560をベースにしており、同じ1オクターブ間隔で配置された10バンドを備えています。各フィルターの帯域幅はゲイン／減衰量が増加するにつれて狭くなります。このプラグインには追加のゲインおよびドライ／ウェットコントロールが搭載されています。

SPEAKER MANAGER



このプロセッサーは PA スピーカー、ステージ上のモニターウェッジ、または IEM システムを駆動する出力信号に必要なプロセッシングを適用するよう設計されています。FILTER セクションは可変周波数のハイパスおよびローパスフィルターを提供します。各バンドに 10 種類のフィルタータイプが利用できます。可変周波数とゲインを持つ Tilt EQ、0° から 180° の連続位相コントロール、極性反転、およびプレジジョンディレイも搭載されています。このセクションで適用された EQ は右側のグラフに黄色のカーブとして表示されます。

DYN EQ はダイナミックイコライゼーションコントロールを提供します。2 つのハイパスと 2 つのローパスフィルタータイプ、およびパラメトリックフィルター（BP、バンドパス）が利用できます。ダイナミックイコライザーが適用するゲインは、Above/Below スイッチの位置に応じて、信号がスレッシュホールドを超えた場合または下回った場合に適用されます。LIMITER タブはリミッターの Threshold、Release、および RMS/Peak コントロールを提供します。ゲインリダクションは赤いメーターに表示されます。

TRIPLE DEQ



3 バンドダイナミックイコライザーです。各バンドは DEQ 1/2/3 ボタンからアクセスでき、独立したコントロールを備えています。信号がスレッシュホールドを超えた場合または下回った場合に目的のゲインリダクションまたは増幅を適用するかを選択することができます。

異なる Q を持つシェルビングフィルターとバンドパスフィルターが利用できます。フラットフィルターを選択した場合、このデバイスはフルレンジのコンプレッサーまたはエクスパンダーとして機能します。

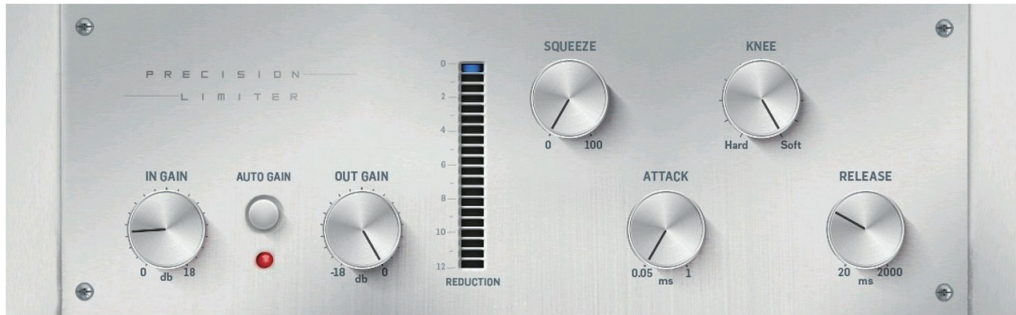
このプロセッサーのシングルバンド版は各チャンネルの GATE スロットで利用できます。

COMBINATOR



C5-COMBINATOR は効果的でトランスペアレントな結果で知られるマルチバンドコンプレッサーです。Attack および Release コントロールは全 5 バンドに適用されます。右上隅の Thresh、Gain、および Ratio コントロールも全バンドに適用されますが、カラーの矩形内の Thresh、Gain、および Width コントロールは画面で選択中のバンドにのみ有効です。Slope スイッチはマルチバンドコンプレッサーを構成するバンドパスフィルターのスロープを変更します。スペクトラルバランスコントロール（SBC）を有効にすると、5 つのバンド間の自動ゲインバランスが可能になります。SBC ノブはこのゲインバランスの動作速度を決定します。

PRECISION LIMITER



このプラグインはデジタルクリッピングおよび歪みを防ぐための正確なピークコントロールを提供します。AUTO GAIN は追加の長期ゲイン補正を有効にし、ダイナミックレンジの広い信号の自動ゲインコントロールを実現します。SQUEEZE は設定量に応じてパンチとドライブを加えるためにコンプレッションを信号に適用します。

2-BAND DEESSER



このプラグインは SPL Dual-Band De-Esser をベースにしています。歯擦音周波数を分離し、極性を反転させた状態で信号に戻すことで減衰させます。原音に戻される極性反転された信号の量、つまり歯擦音の低減量は LOW および HIGH ノブで制御します。

LOW フィルターのセンター周波数は 6.4 kHz (MALE) または 7.6 kHz (FEMALE) に設定できます。HIGH フィルターのセンター周波数は 11.2 kHz に固定されています。

M/S MODE で動作する場合、左側のノブはミッドチャンネル、右側のノブはサイドチャンネルを制御します。

ULTRA ENHANCER



エキサイターは信号に倍音を加えることでプレゼンスと明瞭度を向上させます。SPL Vitalizer にインスパイアされた ULTRA ENHANCER はオーラルエキサイターとステレオイメジャーを組み合わせています。スペクトラルエキサイトメントに 3 つのバンドが利用できます。オーラルエキサイトメントのカットオフ周波数は BASS および HIGH フィルターで可変です。MID フィルターは可変 Q を提供します。SOLO ボタンを有効にすると加えられているハーモニクスのみを聴くことができます。

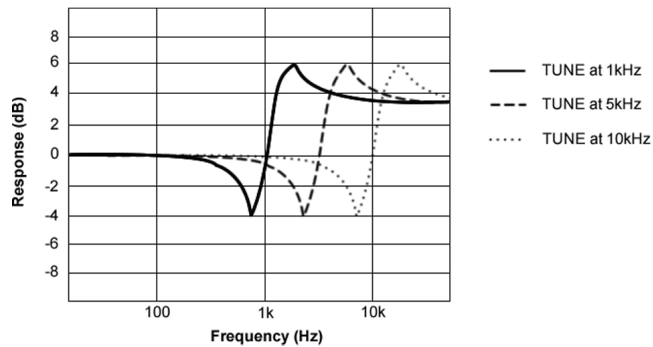
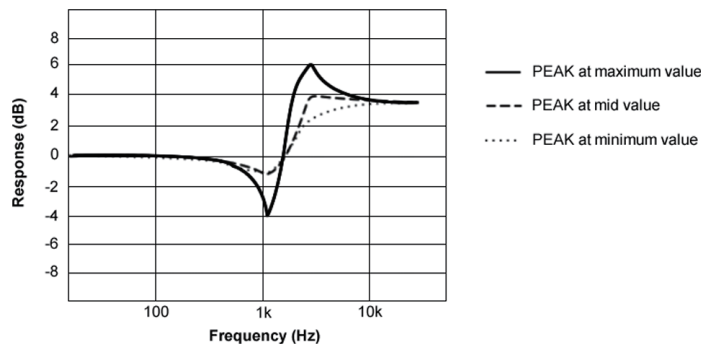
MONO および STEREO セクションは左右チャンネル共通の信号（モノ）と左または右チャンネルのみの信号（ステレオ）のレベルとパンニングを制御します。左右チャンネルのみの信号間の差は LMF SPREAD ノブで調整できます。

EXCITER

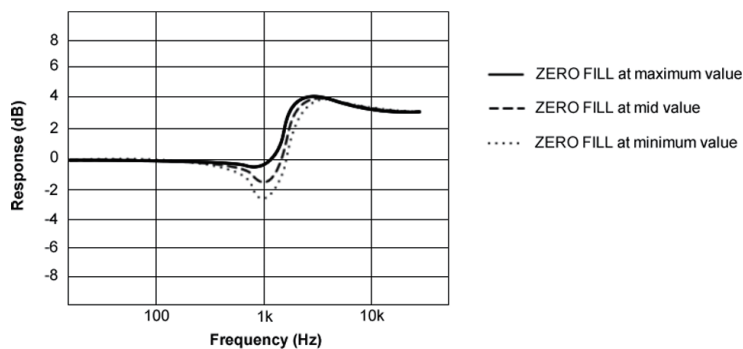


このエフェクトは Aphex Aural Exciter にインスパイアされています。倍音生成前のサイドチェーンにあるハイパスフィルターのカットオフ周波数は TUNE ノブで設定します。

下のグラフは 3 つの異なる TUNE 設定（1 kHz、5 kHz、10 kHz）における出力信号の周波数特性を示しています。倍音生成の直前に周波数特性のディップがあることに注意してください。これはサイドチェーンと未処理の入力信号の再結合によって生じます。



PEAK コントロールは以下のグラフに示すように TUNE 周波数を強調します。ただし、PEAK が増加するにつれて TUNE 周波数の前のディップもより顕著になります。この例では TUNE 周波数は 1 kHz に固定されています。



ZERO FREQ コントロールは TUNE 周波数の前のディップを補正します。以下の例では、TUNE および PEAK コントロールはいずれも固定されています。TIMBRE ノブを反時計回りに回すと奇数次倍音が増加し、時計回りに回すと偶数次倍音が増加します。HARMONICS ノブで信号に加える倍音の振幅を調整し、MIX ノブでエフェクト信号をブレンドします。DRY ボタンを無効にすると加えられているハーモニクスのみを聴くことができます。

PSYCHO BASS



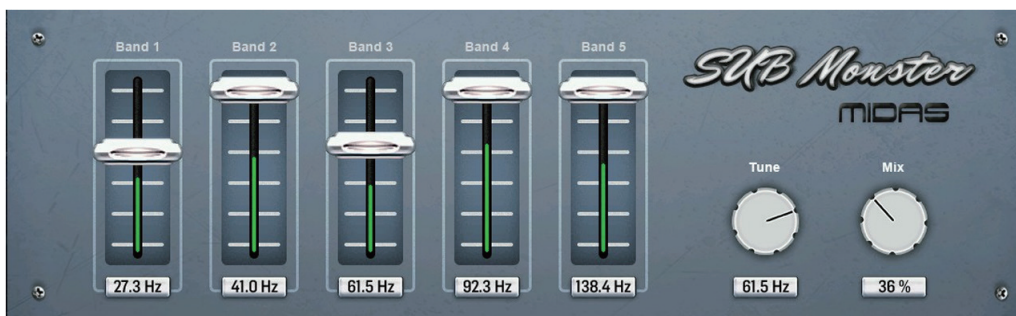
Psycho Bass は信号に倍音を加えることで、実際には再生されていない低域周波数を知覚しているかのように脳を錯覚させる低域エンハンサーです。INTENSITY は生成された倍音のレベルを制御します。X/O FREQUENCY は処理が適用される周波数の上限を設定します。BASS GAIN は新たに生成された倍音による知覚音量の増加を補正するために X/O 周波数以下の信号を減衰させます。SOLO は X/O 周波数以上の周波数を一時的にフィルタリングします。

SUB OCTAVER



このエフェクトは 1980 年代初頭のギターペダル BOSS Octave OC-2 をベースにしています。原音より 1 オクターブおよび 2 オクターブ下のトーンをそれぞれ生成します。各新しいトーンの独立したボリュームコントロールと、トーンコントロール（RANGE）が搭載されています。

SUB MONSTER



MIDAS SUB MONSTER プラグインは特定の周波数とその上下 2 つのハーモニクスを強調するために使用されるサブハーモニックシンセサイザーです。センター周波数は Tune ノブで設定します。各フェーダーは対応するハーモニクスの強調量を制御します。なお、センター周波数は Band 3 で利用できます。ドライ/ウェットミックスノブも搭載されています。

VELVET IMAGER



VELVET IMAGER はステレオ信号のワイズを拡大したり、モノ信号からステレオイメージを再現したりすることができるステレオイメージャーです。

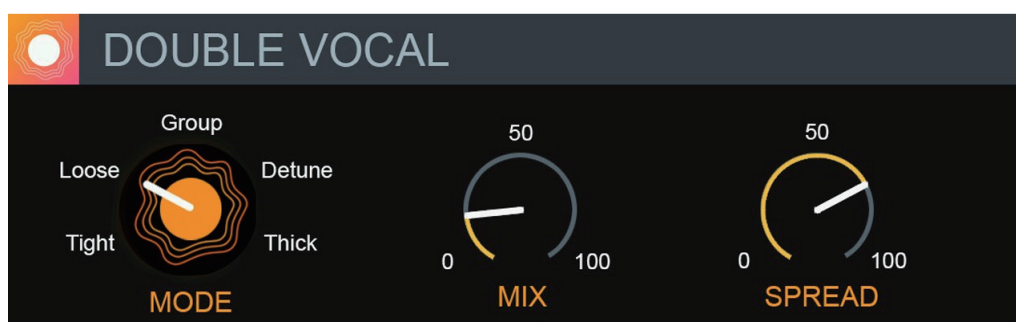
MS-WIDTH はミッドチャンネルとサイドチャンネルのレベルを変化させることでステレオワイズを制御します。

STEREOIZE は K-Stereo または Velvet モードを使用して生成されるステレオプロセッシングの全体的な量を制御します。

K-Stereo モードでは原音に人工的なリフレクションが加えられます。Velvet モードでは各チャンネルのハーモニクス間の位相がランダムにシフトされます。両モードとも DEEP ボタンを有効にするとエフェクトが強調されます。

ベクター스코ープと位相相関メーターは左右チャンネル間の位相相関の信頼性の高いモニタリングを提供します。

DOUBLE VOCAL



DOUBLE VOCAL はシンプルかつ効果的な 5 つの動作モード、ドライ／ウェットコントロール、およびステレオスプレッドコントロールを持つダブルエフェクトです。もともとボーカル用に設計されていますが、他の楽器にも心地よいダブルリング効果を加えることができます。

PITCH FIX



このプロセッサーはライブピッチ補正に使用できます。SPEED は外れたピッチが正しいピッチに到達するまでの速さを決定します。AMOUNT は適用されるピッチシフトの量を決定します。例えば SPEED=100、AMOUNT=10 の設定では、わずかなピッチ補正がすぐに適用されます。反対に SPEED=10、AMOUNT=100 の設定では、正確なノートに達するまでピッチシフトが適用されますが、この補正はゆっくりと行われます。SPEED を高く設定するとアーティファクトが生じる場合があります、これがクリエイティブな目的に使用されることもあります。デフォルトでは全てのノートが有効になっています。ただし、任意のノートを無効にすることができます。その場合、PITCH FIX は入力信号を最も近いアクティブなノートに強制的にシフトしません。無効にしたノートの範囲内の信号は未処理のままスルーされます。

ROTARY SPEAKER



このエフェクトは Leslie ローレーティングスピーカーのサウンドをエミュレートします。電気機械式の対応品よりも高い柔軟性を提供し、様々な楽器やボーカルにも使用してぐるぐると回転するサイケデリックな効果を生み出すことができます。SLOW RATE および FAST RATE ノブで 2 つの異なる回転レートを設定できます。FAST/SLOW/STOP スイッチで両方のスピードを切り替えたり、回転を完全に停止させたりすることができます。ACCEL ノブは SLOW と FAST RATE を切り替える際に回転スピードが目標値に達するまでの速さを調整します。バススピーカーとホーンに対して異なる加速値を設定することができます。両者の音量バランスは BALANCE ノブで設定します。DISTANCE はスピーカーからリスニングポイントまでの距離を調整します。ドライ/ウェットノブ (MIX) も搭載されています。

PHASER



PHASER はカットオフ周波数がモジュレートされる複数のフィルターセットを適用し、入力信号の周波数特性にディップを生み出します。その結果、「うねり」のある効果が生まれます。PHASER を使用してボーカルや楽器に幻想的で浮遊感のあるサウンドを与えることができます。

TREMOLO/PANNER



TREMOLO/PANNER は信号のボリュームとパンニングをモジュレートするために使用できます。モノエフェクトの場合、LFO PHASE L/R を 0° に設定します。左右の LFO の位相をシフトさせるとパンニング効果が生まれます。エンベロープフィルターはデバイス左側の DEPTH および SPEED ノブを使用してモジュレートすることもできます。

TAPE MACHINE



このプラグインはマルチトラック2インチテープレコーダーのソフトクリッピングと音色特性をエミュレートします。2つのシェルビングフィルター、ドライブコントロール、および連続可変テープスピードコントロールが搭載されています。テープスピードが高いほど高域周波数成分が多くなる傾向があります。

MOOD FILTER



Minimoog Model D シンセサイザーのフィルターセクションにインスパイアされた MOOD FILTER は、LFO ジェネレーターとオートエンベロープジェネレーターを使用して VCF（電圧制御フィルター）を制御します。このフィルターは ENVELOPE セクションを使用して入力信号のエンベロープで、または LFO セクションでモジュレートすることができます。フィルター自体は FILTER セクションで設定できます。カットオフ周波数、フィルタータイプ、スロープ、およびレゾナンスコントロールが搭載されています。なお、PHASE ノブで左右チャンネルの LFO の位置をシフトさせるとステレオフィルタリング効果が生まれます。追加のドライブおよびミックスコントロールも搭載されています。

BODYREZ



BODYREZ は TC Electronic のペダルをベースにしています。特に最適でないピックアップを使用した際に、アコースティックギターの自然な音響共鳴を回復するよう設計されています。単一のノブでプリセットフィルターとコンプレッションを加えることで、よりピュアなサウンドが得られます。

RACK AMP



RACK AMP は Tech21 SansAmp シリーズにインスパイアされています。オリジナルのデバイスと同様に、RACK AMP はギターアンプのプリアンプ、パワーアンプ、およびスピーカーをエミュレートします。

BUZZ、PUNCH、CRUNCH はそれぞれ低域、中域、高域周波数の歪みを制御します。DRIVE ノブはパワーアンプステージの管球歪みをシミュレートします。ギタリストがすでにリアルなキャビネットを使用している場合、CABINET スイッチをオフにすることができ、エフェクトをブーストまたはディストーションペダルのように機能させることができます。ローおよびハイシェルフフィルターを備えた追加ペダルも利用できます。

UK ROCK AMP



UK ROCK AMP はクラシックロックのトーンによく使用されるクラシックな Marshall ギターアンプのトーンにインスパイアされています。プリアンプおよびパワーアンプステージの標準的なコントロールが搭載されています。必要に応じてキャビネットエミュレーションを無効にすることができます。

なお、SAG ノブはクラス AB の管球パワーアンプの動作をエミュレートします。大音量で動作する際、ハードなトランジェント（速いアタックと高い振幅）を持つ入力信号が突然の電流増加を引き起こします。電源電圧がわずかに低下した後、回復し、その結果サウンドにスウェル効果が生まれます。

ANGEL AMP



ANGEL AMP は ENGL Fireball アンプにインスパイアされており、メタルやその他のアグレッシブな歪んだギタートーンを必要とするスタイルに広く使用されています。SAG ノブは上記と同様の動作をします。必要に応じてキャビネットエミュレーションを無効にすることもできます。

JAZZ CLEAN AMP



JAZZ CLEAN AMP は 1970 年代中頃のクラシックな Roland JC-120 にインスパイアされており、クリーントーンとアナログコーラスエフェクトで有名です。その名称にもかかわらず、このソリッドステートアンプはファンク、ニューウェーブ、さらにはメタルまで幅広いジャンルに対応しています。

DELUXE AMP



このアンプは 1960 年代の有名な Fender Deluxe Reverb をベースにしています。オリジナルの管球アンプと同様に、プリアンプとパワーアンプのゲインステージをそれぞれ制御する VOLUME と OUTPUT GAIN により、クリスタルクリアなクリーントーンからクランチなドライブサウンドまで幅広いサウンドを実現できます。他の全ての管球アンプエミュレーションと同様に SAG コントロールも搭載されています。

Channel FX

このカテゴリにはイコライザーとチャンネルストリップが含まれており、複数のプロセッサーを EFFECTS スクリーンの1つのスロットを使用するエフェクトユニットに統合したもので、チャンネルやバスの「インサートエフェクト」として使用できます。

SOUL ANALOGUE



SSL 4000E シリーズコンソールをベースにした4バンドパラメトリック EQ です。このシリーズは一般的にミッドレンジの明瞭さとパンチと関連付けられています。ローミッドおよびハイミッドバンドで利用できる周波数は $\div 3$ および $\times 3$ ボタンで変更することができます。

EVEN 88 FORMANT



2000 年代初頭に登場した Neve 88 シリーズコンソールのイコライザーセクションをベースにした4バンドパラメトリック EQ です。このシリーズは豊かな低域と抜けの良い高域の両方と関連付けられています。LOW および HIGH フィルターはパラメトリックまたはシェルビングフィルターのどちらかに設定できます。Hi-Q スイッチにより Q を高めることができます。LOW MID および HIGH MID フィルターは連続可変 Q を備えています。

EVEN 84



1084 Neve プリアンプのイコライザーをベースにした3バンド EQ です。このプリアンプはクラシックな 1073 プリアンプと同じ設計思想に基づいており、イコライゼーション用の異なる周波数を提供しています。EVEN 84 はオリジナルのユニットと同様に、MID フィルターの帯域幅を狭める HI-Q ボタンを搭載しています。

FORTISSIMO 110



1985 年に Rupert Neve によって設計され、後に Forte コンソールとなった Focusrite ISA110 ユニットの EQ セクションをベースにした 4 バンドパラメトリック EQ です。2 つのパラメトリックフィルターで利用できる周波数は×3 ボタンで変更することができます。

PULSAR



PULSAR P1a/M5 は PULTEC EQP1-A および MEQ-5 ユニットのインスパイアされており、丸みのある、太く音楽的なトーンシェーピングをもたらす幅広く緩やかなカーブで高く評価されています。

MID EQ5 セクションはミッドレンジに設定された 3 つのフィルターを提供し、HI-LO EQ1 セクションはスペクトラムの低域と高域に焦点を当てています。

MACH EQ4



määg EQ4 をベースにした 6 バンド固定周波数イコライザーです。このユニットは最小限の位相シフトを持ち、クリアで存在感のあるサウンドで知られています。AIR FREQ コントロールは自然な明るさを加えます。

EVEN CHANNEL



このプラグインは Neve 88 シリーズコンソールの 1 チャンネルストリップのシグナルフローをエミュレートしており、EVEN 88 GATE、EVEN 88 FORMANT イコライザー、および EVEN COMPRESSOR/LIMITER を搭載しています。

SOUL CHANNEL



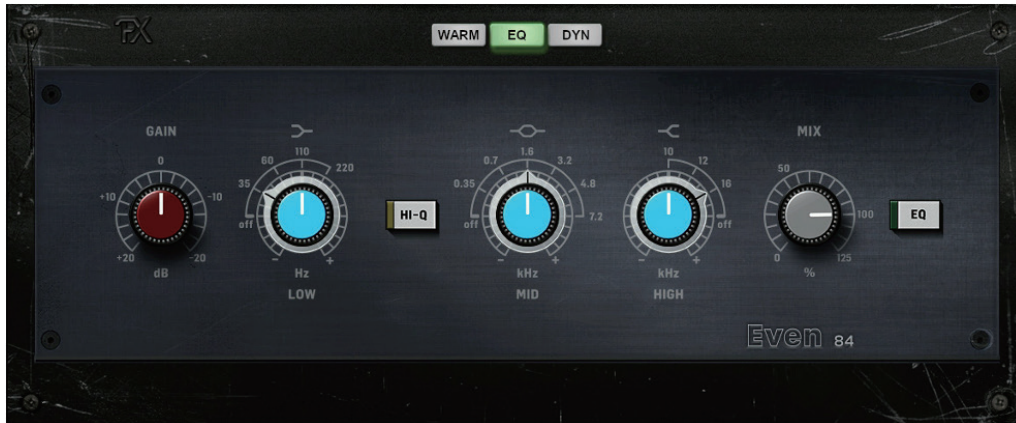
このプラグインは SSL 4000 シリーズと 9000 シリーズのハイブリッドコンソールの 1 チャンネルストリップのシグナルフローをエミュレートしており、SOUL 9000 GATE/EXPANDER、4000 シリーズコンソールの SOUL ANALOGUE イコライザー、および SOUL 9000 コンプレッサーを搭載しています。

VINTAGE CHANNEL



このチャンネルは温かみのある豊かなトーンと関連付けられるクラシックなアナログプロセッサの 3 つのエミュレーションを組み合わせています: 高速 FET コンプレッサー、穏やかなパッシブイコライザー、および光学式コンプレッサーです。FET コンプレッサーはイコライジング前の素早いトランジェントを制御するために使用でき、光学式コンプレッサーはより穏やかな全体的なレベルコントロールに使用できます。

BUS CHANNEL



BUS CHANNEL は SSL にインスパイアされたドライブ付きプリアンプ、Neve 1084 にインスパイアされたイコライザー、および SSL-G Bus Compressor にインスパイアされたコンプレッサーという、大きな音色付けをもたらす 3 つのプロセッサーを組み合わせています。

MASTERING



MASTERING プラグインはマスタリングで一般的に使用される 4 つのユニットを組み合わせています：テープサチュレーション、トランスペアレントなサウンドのイコライザー、オーラルエキサイター／ステレオイメジャー、およびリミッターです。

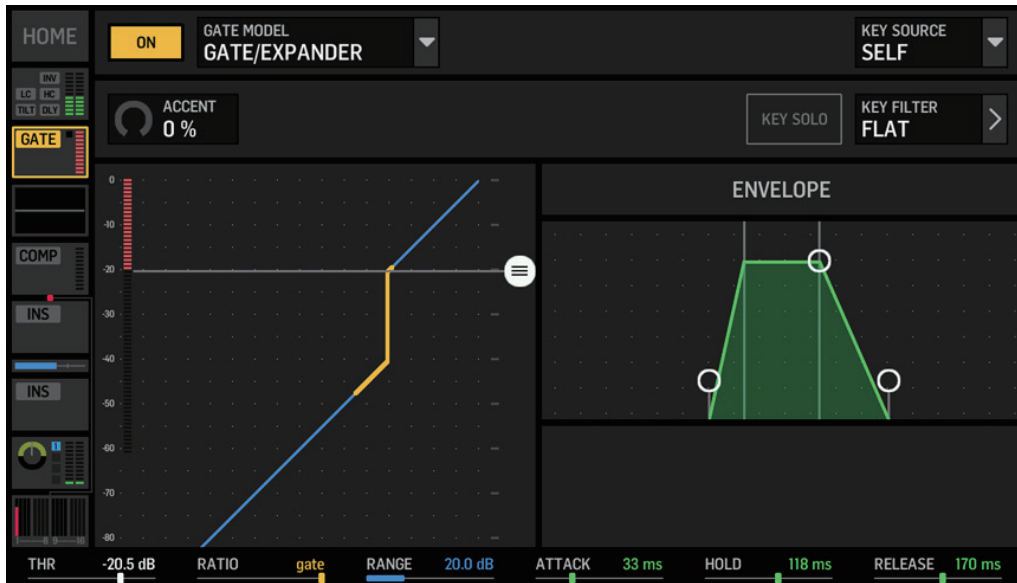
EXTERNAL EFFECT



EXTERNAL EFFECT プラグインを使用することで、アウトボードのアナログまたはデジタル機器をシグナルパスに簡単に組み込むことができます。チャンネルにインサートした後、SEND をクリックすることで信号を任意のデジタルまたはアナログ出力に送ることができます。逆に、任意のデジタルまたはアナログ信号を RETURN に入力することができます。処理済み信号と未処理信号をブレンドするための FX MIX ノブが搭載されています。なお、両信号のタイムアラインメントを取るために LATENCY ノブを調整する必要があります。外部エフェクトで処理された信号は、アウトボードプロセッサーの特性に応じた特定の時間だけ必然的に遅延します。

ゲートプラグイン

GATE/EXPANDER

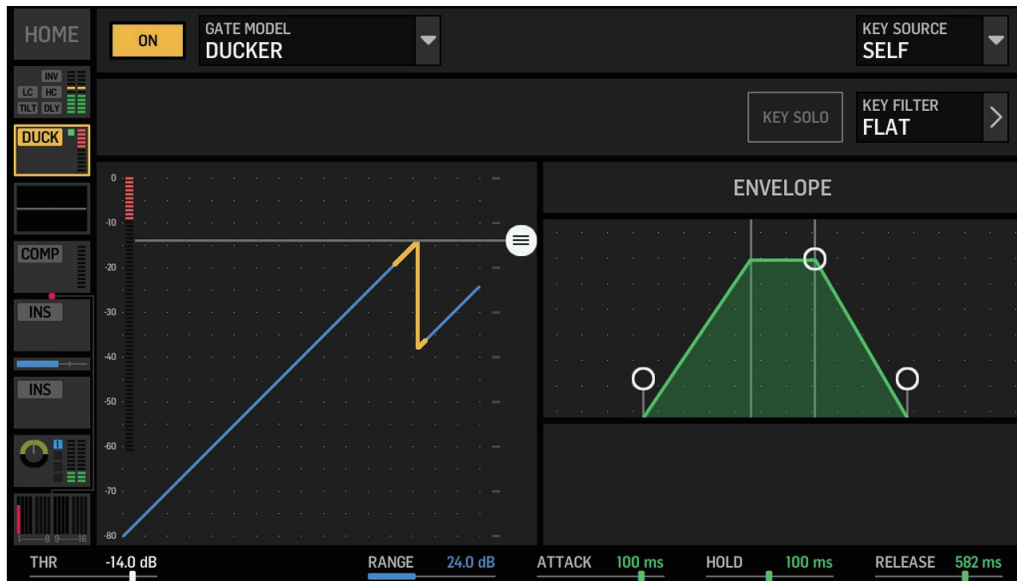


GATE/EXPANDER は WING コンソールのデフォルトノイズゲートおよびダウンワードエクスパンダーです。スレッシュホールド以下で固定ゲインリダクション（RANGE）を適用する通常のノイズゲートとして、またはゲートとダウンワードエクスパンダーのハイブリッドとして動作することができます。

RATIO が「gate」に設定されている場合、このデバイスは通常のノイズゲートとして機能します。例えばスレッシュホールドが -10 dB に設定され RANGE が 20.0 dB の場合、-10 dB 以下の全ての信号は 20 dB 減衰されます。-60 dB の入力では -80 dB の出力に、-30 dB の入力は -50 dB の出力に対応します。

RATIO が「gate」以外の値に設定されている場合、信号がスレッシュホールドを下回るにつれて RANGE で設定された最大減衰量に達するまでゲインリダクションが比例して適用されます。入力信号がスレッシュホールドに近いほど適用される減衰量は少なくなります。レシオが高いほどトランスファー関数のスロープが急峻になり、通常のゲーティングに近いサウンドになります。例えばレシオが 1:2 の場合、入力信号がスレッシュホールドより 5 dB 下にあると、出力信号はスレッシュホールドより 10 dB 下になります。1:4 のレシオでは、スレッシュホールドより 5 dB 下の入力信号はスレッシュホールドより 20 dB 下の出力に対応します。この設定では、RANGE で設定された最大減衰量（この場合 20 dB）に達するまでプラグインはダウンワードエクスパンダーとして動作します。この時点以下の全ての信号には固定の減衰が適用されます。

DUCKER



DUCKERは「ラジオホストが音楽の上で話す」効果を実現するために使用されます。ラジオホストが話すたびに音楽が小さくなります。

DUCKERは信号がスレッシュホールドを超えると固定値で信号を減衰させます。信号がスレッシュホールドを超えることを許容しますが、より遅いレート（レシオによって決定される）で減衰させるコンプレッサーとは異なり、ダッカーは突然の固定減衰を適用します。

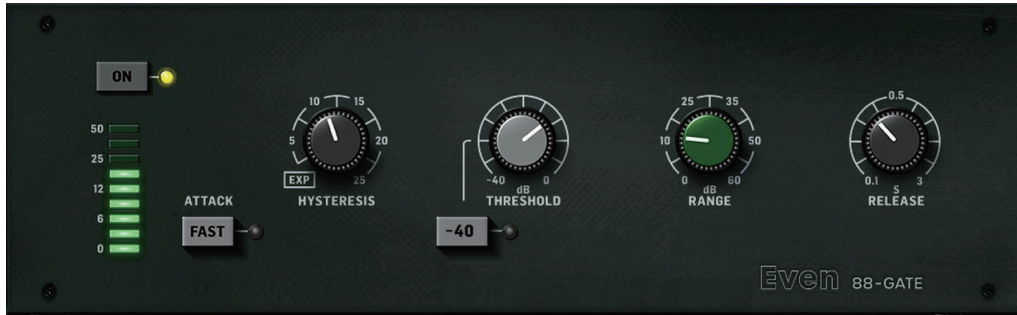
上述の「ラジオホスト効果」を実現するには、DUCKERは減衰させている信号とは別のサイドチェーン信号によって駆動される必要があります。例えば、DUCKERを音楽チャンネルのGATEセクションに読み込み、スピーカーのマイクロフォンをKEY SOURCEとして選択し、ホストが話すたびにスレッシュホールドを超えるように設定します。これにより音楽はRANGEノブで設定した量だけ減衰されます。

SOUL 9000 GATE



SOUL 9000 GATEはSSL 9000sシリーズコンソールの各チャンネルに搭載されたノイズゲートセクションをエミュレートします。このゲートはEXPANDボタンをクリックすることで2:1レシオ（前述の例の表記に従えば1:2）のダウンワードエクスパンダーとしても機能します。

EVEN 88 GATE



EVEN 88 GATE は Neve 88 シリーズコンソールの各チャンネルストリップのノイズゲートセクションをエミュレートします。HYSTERESIS コントロールが搭載されており、開くスレッシュホールドと閉じるスレッシュホールドの差を dB で設定します。例えばスレッシュホールドが -30 dB に設定され 10 dB のヒステリシスがある場合、ノイズゲートは -20 dB で開き -30 dB で閉じます。これにより信号の自然なディケイを保持するのに役立ちます。

HYSTERESIS ノブを完全に反時計回りにして EXP 設定にすると、ゲートはダウンワードエクスパンダーとして動作します。THRESHOLD は対応するノブで -40 dB から 0 dB の範囲で設定できます。-40 ボタンを有効にするとスレッシュホールドが 40 dB 下にシフトします。

DRAW MORE 241



Drawmer DL 241 のノイズゲート／エクスパンダーセクションをベースにしたこのエフェクトは、入力信号レベルに応じてレシオを自動的に適応させます。信号がスレッシュホールドをさらに下回るほど、ダウンワードエクスパンダーのレシオが高くなります。逆に信号がスレッシュホールドに近い場合はレシオが小さくなり、減衰量が少なくなります。

BDX902 DEESSER



このエフェクトは dbx 902 ディエッサーにインスパイアされています。FREQUENCY ノブはサイドチェーンフィルターのセンター周波数を設定し、RANGE はどれだけ減衰させるかを設定します。

HF ONLY が無効の場合、サイドチェーンフィルターを通過した周波数が固定スレッシュホールドを超えると入力信号全体が減衰されます。HF ONLY が有効の場合、FREQUENCY ノブで設定した高域周波数帯域のみが減衰されます。

76 LIMITER AMP

このエフェクトはコンプレッサーセクションで説明されています。

LA LEVELER

このエフェクトはコンプレッサーセクションで説明されています。

SOURCE EXTRACTOR



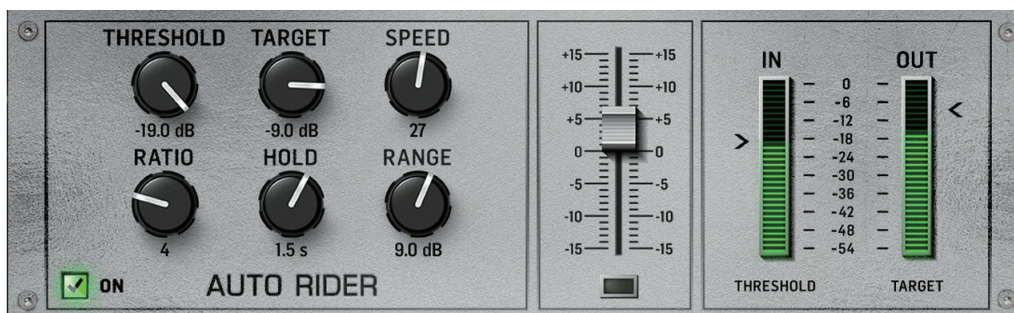
SOURCE EXTRACTOR は Neve Portico 5045 チャンネルストリップのノイズゲートセクションの 500 シリーズバージョンをベースにしています。THRESHOLD および DEPTH（レンジ）コントロールが搭載されています。FAST はより速いアタックタイムを有効にし、PEAK は RMS 検出とピーク検出を切り替えます。RMS モードではアタックタイムは 100 ms と 200 ms です。ピークモードではアタックタイムは 200 ms と 1s です。

WAVE DESIGNER



SPL の Transient Designer をベースにしたこのエフェクトは、信号のアタックとサステインを独立して変更することができます。アタックを強調することでドラム、パーカッション、ギターに「スナッピー」なサウンドを与えるためによく使用されます。

AUTO RIDER



AUTO RIDER は目的のチャンネルのフェーダーを自動的に「ライド」し、知覚音量を比較的一定に保つよう設計されています。THRESHOLD は処理が適用されるために入力信号を超える必要があるレベルを設定します。TARGET は目標出力レベルを設定します。SPEED は調整が行われる速さを決定します。RATIO は入力信号に対する出力信号のトランスファ関数の急峻さを設定します。低い値ほどより繊細な調整になります。HOLD はフェーダー調整が維持される最小時間を決定します。RANGE は適用される最大減衰量または増幅量を設定します。

SOUL WARMTH PRE



SOUL WARMTH PREはSSLのOriginコンソール向けに開発されたプリアンプをエミュレートします。このエミュレーションはクリーンなサウンドのプリアンプからアグレッシブなクリッピングまで幅広いトーンオプションを提供します。DRIVE ノブは信号がどれだけソフトクリッピングされるかを制御します。HARMONICS ノブは生成される2次（偶数次）および3次（奇数次）倍音のバランスを制御します。オリジナルのアナログコンソールのプリアンプは奇数次倍音を生成していました。偶数次倍音はより厚みのあるサウンドと原音のトランジェントのアタックを抑えることをもたらしめます。

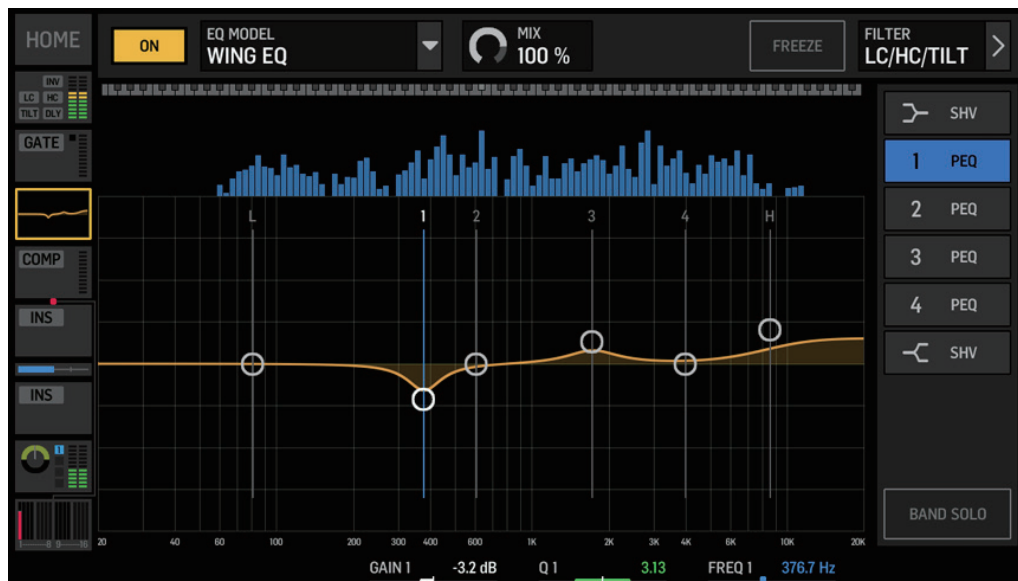
DYNAMIC EQ



これはラックエフェクトセクションで説明されている TRIPLE DEQ ダイナミックイコライザーのシングルバンド版です。SPEAKER PROCESSOR ユニットの DYN EQ タブでも利用できます。なお、このスタンドアロンのシングルバンドダイナミックイコライザーは個別チャンネルの GATE セクションでのみ利用できます。

EQ プラグイン

WING EQ



WING EQ はコンソールのデフォルトデジタルイコライザーです。6 バンドパラメトリック EQ です。さらに、チャンネルのプリアンプセクションにあるローカットおよびハイカットフィルターがアクティブな場合、それらのカットオフ周波数は LC FREQ および HC FREQ コントロールで編集できます。

デフォルトでは最低域と最高域のフィルターは L および H とラベル付けされ、シェルビングフィルターとして設定されています。SETTINGS ページでパラメトリックフィルターに変更することができます。

EQ は ON/OFF スイッチでバイパスできます。アクティブな場合、EQ カーブは黄色で表示されます。

SOUL ANALOGUE

このエフェクトはラックエフェクトセクションで説明されています。

EVEN 88 FORMANT

このエフェクトはラックエフェクトセクションで説明されています。

EVEN 84

このエフェクトはラックエフェクトセクションで説明されています。

FORTISSIMO 110

このエフェクトはラックエフェクトセクションで説明されています。

PULSAR

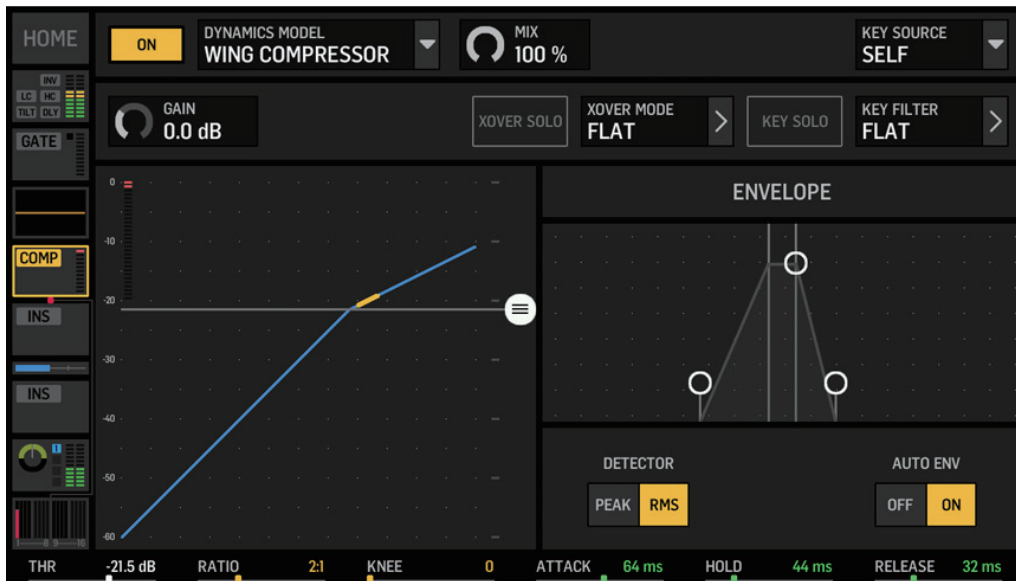
このエフェクトはラックエフェクトセクションで説明されています。

MACH EQ4

このエフェクトはラックエフェクトセクションで説明されています。

コンプレッサープラグイン

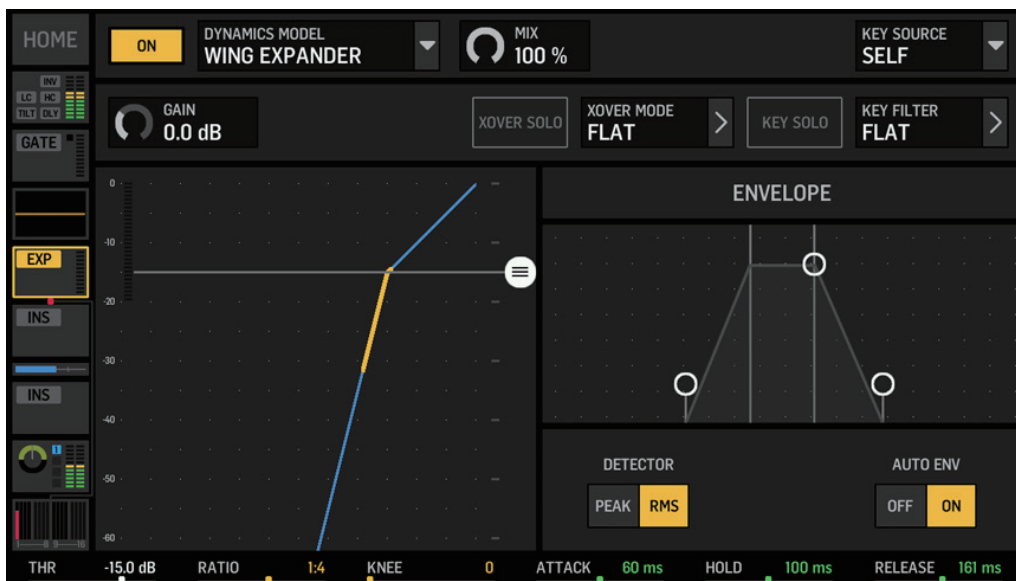
WING COMPRESSOR



WING COMPRESSOR はコンソールのデフォルトデジタルコンプレッサーです。左側にトランスファー特性グラフが表示され、信号とゲインリダクションを視覚的に確認できます。入力レベルはX軸で、出力レベルはY軸で表されます。標準的なスレッシュホールド、レシオ、およびニーコントロールが搭載されています。AUTO ENVを無効にすることでコンプレッサーのアタック、ホールド、およびリリースパラメーターを手動で設定できます。検出はピークまたはRMSにも設定できます。

コンプレッサーのサイドチェーンに使用する信号は左上隅のKEY SOURCEメニューで選択できます。同じ信号または40のインプットチャンネルのいずれかにフィルターをサイドチェーンに適用することもできます。

WING EXPANDER



WING EXPANDER は従来のダウンワードエクスパンダーとして機能します。COMP スロットで利用可能で、ノイズゲートが過度にアグレッシブなサウンドをもたらす場合に通常使用されます。RATIO は上記と同様の動作をします。

BDX 160 COMP



BDX 160 は 1970 年代初頭の dbx 160 VCA コンプレッサーをベースにしています。ハードニー設定とアグレッシブなサウンドで知られており、「前に出てくる」サウンドが必要なドラムトラックやボーカルによく使用されます。シンプルなスレッシュホルド、レシオ、およびメイクアップゲインコントロールが利用できます。

BDX 560 EASY



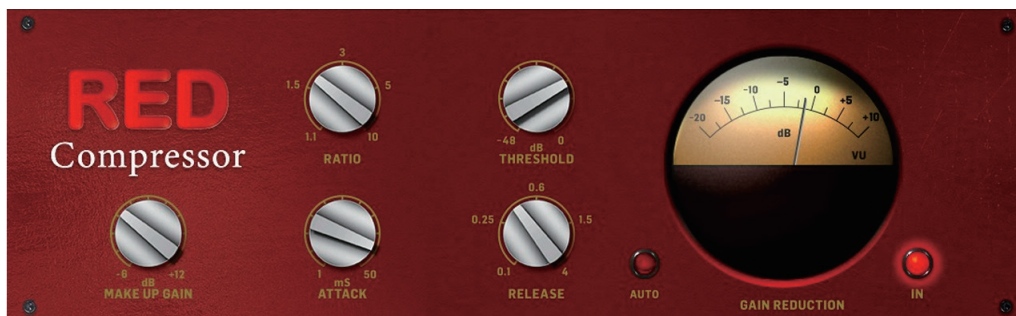
BDX 560 EASY は dbx 160 の後継機である dbx 160A の 500 シリーズバージョン、dbx 560A をベースにしています。560 と同じコントロールを備えていますが、追加の EASY オプションによりニーが緩やかになり、より繊細なコンプレッションサウンドが得られます。

DRAW MORE COMP



DRAWMER DL241 をベースにしたこのコンプレッサー／リミッターはソフトニーコンプレッションを提供し、自然なサウンドを実現します。ATTACK および RELEASE は AUTO に設定することができます。PEAK セクションは信頼性が高く極めて速いリミッターを提供し、PA システムやインイヤーモニタリングデバイスに信号を送るチャンネルなど最も要求の厳しい場面に適しています。

RED3 COMPRESSOR



このユニットは 1990 年代中頃の Focusrite Red3 コンプレッサーをベースにしています。ISA コンプレッサーモジュールから派生した RED コンプレッサーは、大きなコンプレッションを適用した場合でも自然なサウンドを提供します。

SOUL 9000



SSL 9000 シリーズのチャンネルコンプレッサーをベースにした SOUL 9000 は、クラシックな SSL トーンに対してよりトランスパレントなサウンドアプローチを提供します。

SOUL BUS COMP



SOUL BUS COMP は 1980 年代の非常に人気の高い SSL 4000 G シリーズバスコンプレッサーをベースにしています。ミックスを「グルー（糊付け）」してまとまりのあるサウンドを与えるためによく使用されます。

EVEN COMP/LIM



EVEN COMP/LIM は 1980 年代中頃の Neve 33609 をベースにしており、クラシックな 2254 の設計思想を受け継いでいます。このコンプレッサーのキャラクターはミックスバスへの使用に適しています。EVEN COMP/LIM がミックスバスの最後のプロセッサーである場合、リミッターセクションも有効です。

EXTERNAL BLISS



ETERNAL BLISS は Elysia Xpressor をベースにしています。RMS ピーク検出とソフトニー設定により、クリアでオープンなサウンドと速いトランジェントサウンドを提供します。

なお、Gr Limit ノブは適用される最大ゲインリダクションを決定します。dB で設定したゲインリダクション制限に達すると、入力信号がさらにスレッシュホールドを超えた場合でもゲインリダクションは一定のままになります。

76 LIMITER AMP



1967 年にリリースされた UREI 1176 にインスパイアされた 76 LIMITER AMP は、1 ミリ秒未満の極めて速いアタックタイムを提供し、繊細なコンプレッションからスクワッシュされたトラックまで幅広いサウンド結果をもたらします。

RATIO は 4:1、8:1、12:1、または 20:1 に設定できます。エンジニアはルームマイクなどに有効な極端なコンプレッションを実現するために、アナログユニットの全ボタンを同時に押していました。これは ALL ラベルをクリックすることでエミュレートできます。

なお、スレッシュホールドは固定されています。代わりに、INPUT ノブを調整することで信号がスレッシュホールドをどれだけ超えるかを制御することができます。OUTPUT ノブは INPUT ノブまたはゲインリダクション自体によって生じる変化を補正するために使用します。

アタックタイムとリリースタイムは対応するノブを時計回りに回すほど速くなります。ATTACK はポジション 1 での 800 μ s からポジション 7 での 20 μ s の範囲です。RELEASE はポジション 1 での 1100 ms からポジション 7 での 50 ms の範囲です。

LA LEVELER



LA LEVELER は 1960 年代後半の Teletronix LA-2A 光学式（オプト）コンプレッサーをベースにしています。

エレクトロルミネッセントパネルが発光し、入力信号が大きいほど明るくなりました。そして光依存性抵抗がそれに応じてゲインリダクションを適用していました。このメカニズムと管球ベースの設計により、ボーカルによく好まれるサウンドキャラクターが生まれました。

LIMIT/COMPRESS スイッチはレシオを調整し、PEAK REDUCTION はサイドチェーンゲインを制御することで適用されるゲインリダクションを調整し、GAIN は出力信号のゲインを制御します。VU メーターはゲインリダクションを表示します。

76 LIMITER AMP



FAIR KID は 1959 年に登場した伝説的な Fairchild 660 管球バリアブルミューコンプレッサーをエミュレートします。バリアブルミューコンプレッサーのレシオは一定ではなく、適用されるゲインリダクションが増加するにつれて上昇します。FAIR KID のレシオは 2:1 から 30:1 の範囲です。

ゲインリダクションは THRESHOLD と DC BIAS ノブによって連動して制御されます。THRESHOLD を完全に反時計回りに回すとゲインリダクションは適用されません。ノブを時計回りに回すほど、より多くのゲインリダクションが適用されます。DC Bias ノブを時計回りに回すとレシオが低下し、ソフトニーが広がります。TIME CONSTANT ノブは以下のようにアタックタイムとリリースタイムを決定します：

Time Constant	Attack	Release
1	200 μ s	300 ms
2	200 μ s	800 ms
3	200 μ s	2 s
4	200 μ s	5 s
5	200 μ s	2 s - 10 s
6	200 μ s	300 ms - 25 s

NO-STRESSOR



Empirical Labs Distressor にインスパイアされたこのデバイスは非常に汎用性が高いです。レシオは 1.5:1 から 20:1 の範囲です。NUKE はさらに高いレシオで、パラレルコンプレッションやルームマイクによく使用されます。INPUT および OUTPUT ノブは 76 LIMITER AMP のノブと同様に機能します。ATTACK は 50 μ s から 30 ms の範囲で、RELEASE は 50 ms から 3.5 秒の範囲です。

PIA2250 RACK



PIA2250 RACK は API の 2500 バスコンプレッサーをベースにしており、ミックスバスで使用した際に加えるパンチとまとまりで高く評価されています。スレッシュホールド、レシオ、ニー、アタック、およびリリースコントロールが搭載されています。

TYPE スイッチは異なるコンプレッションスタイルを切り替えます。

OLD は初期の API モデルを彷彿とさせ、NEW はよりモダンなサウンドデザインを特徴としています。アタックタイムは 30 μ s から 30 ms の範囲で、リリースタイムは 50 ms から 3 s の範囲です。

LTA100 LEVELER



LTA100 LEVELER は温かみのあるトーンで知られる 1980 年代の Summit Audio TLA-100A をベースにしています。LA LEVELER と同様に GAIN および GAIN REDUCTION コントロールが搭載されています。ただし、LTA100 LEVELER は可変 ATTACK および RELEASE タイムも提供しています。

WAVE DESIGNER

このエフェクトはゲートセクションで説明されています。

AUTO RIDER

このエフェクトはゲートセクションで説明されています。

MEMO

MEMO

MEMO

Behringer 総輸入販売元

株式会社エレクトリ

〒105-0022

東京都港区海岸 2-7-70

HP:<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。

また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。

behringer

behringer